

授 業 科 目 名	質的調査法：地域社会を深く見通すための方法				
担 当 教 員	諏訪淳一郎、杉山祐子、白石壮一郎				
学 期	前期	曜日・時限	6/16～7/7	単 位	2 単 位
【授業としての具体的到達目標】					
社会調査の中の質的調査について、その目的、方法、考え方について十分に理解し、社会のしくみを見ぬく基礎的な力、考える力を身につけます。					
【授業の概要】					
社会調査は、私たちの社会で起こっているさまざまな現象やしくみを明らかにするために、現場で実際に人と出会い、データを収集し、分析し、それをまとめていく科学的な方法です。本講義では、社会調査のうち質的な調査分析を中心に、その目的や方法、考え方について学びます。					
【授業内容予定】					
<ol style="list-style-type: none"> 1.社会調査における質的調査 2.質的調査の作法と倫理 3.調査のデザイン 4.観察と参与観察(1) 5.観察と参与観察(2) 6.インタビュー調査(1) 7.インタビュー調査(2) 8.フィールドノートと民族誌(1) 9.フィールドノートと民族誌(2) 10.ライフヒストリー法 11. 内容分析(1) 12.会話分析 13. コーディング 14. 内容分析(2) 15. 質的調査と量的調査、課題の確認 					
*内容や順番については若干の変更がある場合もあります。					
【教材・テキスト】					
『よくわかる質的調査〈技法編〉』谷富夫ほか編 ミネルヴァ書房					
【参考文献】					
授業中に適宜紹介します。					
【成績評価の方法および採点基準】					
授業参加とレポート課題の提出で評価します。					
【授業形式・形態および授業方法】					
講義形式です。					
【留意点・予備知識等】					
【オフィスアワー】					
各教員のオフィスアワーは、授業連絡の際にお知らせします。					